

森と人が、支えあう未来へ。

— 沼田市の森林ビジョンを考える —  
沼田市 森林文化都市



2026

3 / 25 (水) 15:30~17:00 (15:00受付開始)

 **場所** テラス沼田 5階 Waltzホール (議場) (沼田市下之町888番地)

 **申込** 0278-23-2111 (内線5011) または ▼二次元コード

 **定員** 50名 (先着順)



 **参加費** 無料

## プログラム

### 基調講演

- ① 「地域主体で森の未来を描くことー全国の取組からー」  
(株) 古川ちいきの総合研究所 代表取締役 古川 大輔 氏
- ② 「森を科学するーゾーニングという考え方ー」  
フォレストーズ (株) 代表取締役 小森 胤樹 氏



### パネルディスカッション

「100年先の森をデザインするために」

沼田市長星野稔と基調講演登壇者が、

ぬまたの森の未来と森林ビジョンについて語り合います。



# 森林文化都市宣言

30年以上が経過...

社会情勢が大きく変化した現在、理想の都市像を創造するため、宣言にある「人と自然が真にふれあう理想のまち」について以下のとおり整理しました



人が自然環境を守り育て  
自然から得られる恩恵が人を助けるまち



人が森を守り、森が人を支える。その循環を、次の世代へつなぐために。森林文化都市めまたの未来を描く「森林ビジョン」について考えるイベントです。

森は、遠い存在ではありません。  
森とともにある暮らしを、いま一度、見つめてみませんか？

林業に携わる方はもちろん、森に関心のある方、  
まちのこれからが気になる方も、どうぞお気軽にご参加ください。

## 登壇者ご紹介

こたえは きっと、森にある。

古川 ちいき 総合研究所



古川 大輔 (ふるかわ・だいすけ)

古川ちいきの総合研究所 代表取締役

地域再生/林業再生コンサルタント、総務省登録・地域力創造アドバイザー

国産材ギャラリー「ちいきのBAR峠」オーナー

新潟県生まれ、東京都町田市育ち。大学院時代に全国の農山村地域を巡り、過疎化、農林業経営の厳しさ、ダム建設など農山村が抱える問題を目の当たりにする。これらの解決のため、より実践的な活動がしたいと考え、大学院を中退しビジネスの世界に飛び込む。

2012年に(株)古川ちいきの総合研究所を設立。

市町村の森林ビジョン策定と実行支援、企業の経営コンサルティング、地域村コーディネート、6次産業化支援、移住定住支援など、幅広く全国の森林・林業・木材産業・まちづくりに関わり、各地での講演実績多数。

編著書に『森ではたらく! 27人の27の仕事』(学芸出版社)、『森林ビジネス』(クロスメディア・パブリッシング)がある。2024年より、社会人博士課程として東京大学大学院 林政学研究室に所属し、研究活動を再開。



FORESTERS



小森 胤樹 (こもり・つぐき)

フォレスターズ株式会社 代表取締役 (森林総合監理士)

1971年、大阪府吹田市生まれ。大学卒業後、5年間糖尿病の診断薬の研究開発職に就く。

2002年、森林を守る仕事を一生の仕事にしたいと林業に転職を決意、林業の仕事を知えるため、林業会社に作業員として転職。10年後雇ってもらった会社の代表として経営を担う。

2016年に森林総合監理士の資格を取得し、フォレスターとして活動すべく、民間事業体の代表を辞し、2021年、民間の森林総合監理士と市町村に林務行政支援を行う、フォレスター合同会社を設立、2025年に合同会社から株式会社へ変更し現在に至る。

